



ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 www.facebook.com/rokuhafamily

ロクハ公園HP www.park-698.net/

ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

暑さ寒さも彼岸まで

今季は、この言葉に重みを感じました。本当に暑かった夏が終わったという感じがして、やっと。冷房使用から解放された、外気が使えると思えました。



名前の通りのヒガンバナ。

子どものころに入っている情報としてお墓でよく咲いていて、毒の花で、持って帰ると火事になる等のマイナスイメージが多い花でした。田んぼのあぜに植えられたのは、球根にあたるものに毒性があり、モグラ除けになるといわれています。日本の柵山風景にとっても似合う花です。でも中国から帰化植物のようです。左の写真は野生化しているもの真ん中・右は花壇に植栽されているもの



ゲンショウコ 薬草として重宝された



スベリヒユ 夏に強い野草



イボクサ いぼをとるのに使われた



チヂミザサ

園内のいろんな場所で繁茂しています。といっても、日向には出てきません。今の時期一斉に花をつけます。そのあとが厄介です。もうすでに始めている粘性の液がでてそこを歩くにつれてきます。動物に種を運ばせるいわゆるひっ付き虫。2枚の写真同じ場所で撮ったのですが様子がいびきです。



上：スズメウリ 夏の終わりに花をつけ、今実をつけ始めています。小さな実は白くなるのが果実としてはめずらしいとのこと 下：カラスウリ 真っ赤になります。歌にも出てきます



口をあけたアケビ



黄色く色づいたギンナン

9/24に開催した「木の実の日」の時に、いつもはもう熟しているのと言っていた二種ですが朝夕の涼しさが関係するのかもしれないという間に変化しました。アケビはぱっくりと口をあけています。ギンナンは緑葉っぱの中に黄色が目立ちます。実が落ちてから黄色くなる紅葉になります。





ROKUHANO.COM

ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 www.facebook.com/rokuhafamily

ロクハ公園HP www.park-698.net/

ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

木の実いろいろ

9/24に「木の実の日」のイベントを開催します。「収穫の秋」という言葉があります。五穀の収穫の時期ですが、他の植物も実らせる時期です。事前調査です。



クリ



ミツバアケビ



コブシ



イチョウ



トウカエデ



オオカエデ



ヤマイモ



ミヤマガマズミ



マメアサガオ



エゴノキ



コナラ



カキ



ソヨゴ



ゴンスイ



マテバシイ



リンゴツバキ



オニグルミ



ハゼノキ



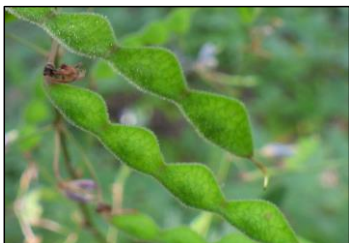
ヤマブドウ



アラカシ



イヌマキ



アレチノヌスビトハギ



サルトリイバラ



ムベ



ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 www.facebook.com/rokuhafamily ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

白露のころ

秋が深まり、葉っぱには露がいっぱいいついています。早朝草むらを行くと靴がほとほとになります。まだ、ツクツクボウシがいっぱい鳴いていますが木陰にいと涼しいです



南ゲート駐車場から見たハチクの竹林。昨年の晩秋花が確認され以後、徐々に枯れていきました。緑で残っているように見える部分クズなどのカズラ類が覆っているのと竹林の中にあつた樹木です。

牧野富太郎と南方熊楠とロクハ公園のハチクの竹林。

今朝の朝ドラを見ていたら牧野富太郎と南方熊楠という2大学の接触のエピソードがストーリーになるようです。南方さんがハチクの花の標本を送っています。明治36年につくられた南方さんの標本を牧野さんはきらきらと見ていたことでしょう。ハチクが花をつけるのは120年に一度ですから、ロクハ公園のこの景色はそのエピソードを裏付けるものです。

ザ・秋「萩」

ハギ、キキョウ、クス、フジバカマ、オミナエシ、オハナ、そしてナデシコ。春の七草に比べ植栽されているものが多い。野草のイメージが少ないです。春の七草は食べる、秋の七草は見て楽しむものが多いです。

公園のハギはマルバハギ、樹木として植えられているような。アザミなのに

ハギはハギでもヌスビトハギ、こちらはひっつき虫で有名。公園では人がよく通る場所がよく見られます。人が種を運ぶからです。ほとんどがアサキヌスビトハギですが一ヶ所ヌスビトハギが咲いていました。ひっつき種の数も少なく種を運ぶ動物が立ち寄らない場所です。

メドハギは「目途が立つ」の語源らしい。

萩はそれだけ身近にある植物です



マルバハギ



アサキノヌスビトハギ



ヌスビトハギ



メドハギ



カトウシロムシ



8月末のロクハツアアで見つけてもらった珍しいクモ。同じ葉っぱの上で毎日見られます。脱皮の時に会われた方もあり、有名な個体になっています



ここしばらく不安定な天候が続いてま。この時期は秋雨として結構雨量があるそうです。キノコの仲間はこれを歓迎しています。上の写真のキノコが下の写真のように変化していくのが、蜂の巣のようです



ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 www.facebook.com/rokuhafamily ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

この場所に何回暑いを書いたか

「まいった、いいかげんにして！」言いたくなるような残暑です。夜の気温が下がらないのがこまります。夜の虫の鳴き声が涼しく聞こえないと思いませんか



ツツドリご来園

私の鳥ごよみは9月がスタートです。9月の本命は「ツツドリ」公園のケヤキやサクラにつく毛虫を食へに来ます。今号はその一報をと決めてました。が、チャンスは何度かあったのに記録できませんでした。写真は今までに傾くしたものです。カッコーそっくりだそうです（まだ出会ったここがない）。子育ても、カッコーと同じ、他の鳥の巣に卵を産み育てさせる「托卵」です。今、ケヤキの並木でカメラを構えておられる方の多くはこのツツドリなraidです。ロクハ公園は、けっこう撮影できるチャンスが高いみたいで、遠くから（大阪）撮影に来られている方もおられます。

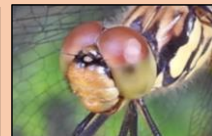


2種類のアサガオ 白いのはマメアサガオ。初めて出会ったときは園芸種が野生化しより原種に帰っていったのかと思ってましたが、アメリカ産の帰化植物のようです。結構いろいろな場所で見られます。 オレンジ色はこれも帰化植物でマルバルコウソウ、ルコウソウとよく似ていますがこちらは葉が丸みがあるサツマイモみたいな葉っぱです。いつももっといっぱい生えているのに今年は探すくらいです。気候の影響でしょうか。

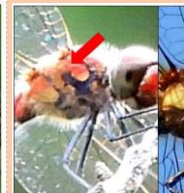
赤とんぼの仲間が見え始めています。今回撮影した3枚それぞれ何か、下のポイントで見分けられますか



赤とんぼを見分けるポイント



顔（口鼻部分）に特徴がある種類、黒い斑があるマユタテアカネ、その部分が青く色づくマイコアカネ。翅の端が黒いかどうか。黒かったらノシメトンボ、コノシメトンボ、リスアカネ♠α。ただし、他の種類にもこの特徴が出るものあり気を付けます。



リスアカネ

コノシメトンボ

ノシメトンボ

マユタテアカネ

ヒメアカネ

マイコアカネ

ナツアカネ

アキアカネ

最終手段、確定するのは胸部横側の黒い模様（糸線）です。これだけしっかり記録すれば、ほぼ同定できます。飛んでいる時はほぼ確認できません。とまっても横向いてくれないと翅が隠してしまうケースも。成熟して真っ赤になると模様はわかりません。個体差もあります。捕まえないとわからないですが、写真記録はそれに補うものです

翅の端が黒い

翅の端が黒くない



ROKHUHAの自然

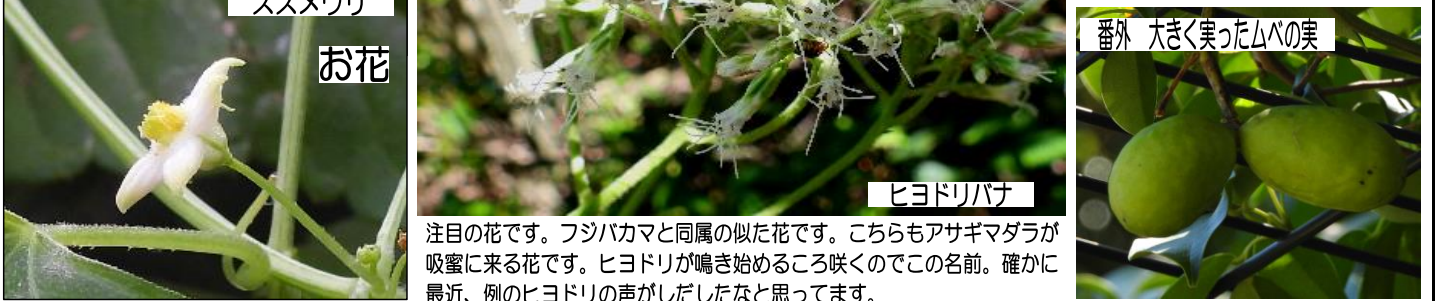
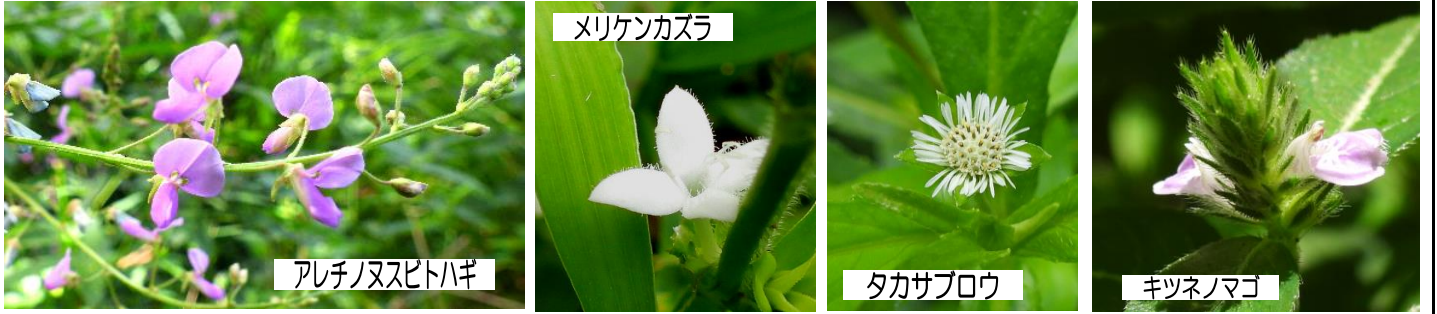
facebook「ロクハ見守り」 www.facebook.com/rokuhafamily ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>
夏休みは終わった 草津市の学校の2学期が昨日から始まっています。市町によって独自性があり8月いっぱい夏休みのところもあります。ですから、いまだにプールの歓喜の声が聞こえてきます。



秋を感じさせる空の色です。木陰は涼しいよという言葉が聞えるほどに。全国的な猛暑の傾向はまだまだ続くようです。暑そうな夏の花がまだまだ幅を利かせてます



秋の花も見えてきました。上の夏の花に比べると色が淡いなと思います



注目の花です。フジバカマと同属の似た花です。こちらもおアサギマダラが吸蜜に来る花です。ヒヨドリが鳴き始めるころ咲くのでこの名前。確かに最近、例のヒヨドリの声がしだしたなと思ってます。



ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 www.facebook.com/rokuhafamily ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

あつい!

今年は、何回口にしかか。お盆過ぎたら涼しくなると、それを頼りにすごしているのに、まだまだと責められているような毎日。アイスクリーム屋さんか、よく売れてホクホクなはずなのに「もうへとへと」と言っていたニュースを思い出す。



左：トノサマガエル 今年によく見る。それにしてもマルマルとした個体。ダルマガエルというのがあります。上：この日やけに出会ったルリタテハ、翅の表も裏もしっかり観察。右：ハラビロカミキリ お腹の曲がり具合がなんとも魅力的、幼虫



オジロアシナガウムシ

ワキグロサツマノミダマシ

ネコハエトリ

左：おそらくカメムシの卵。もうじきハッチをあけて幼虫が出て来る。細い松の葉の上でどうやって集まるか見もの。卵を見ているのか出て来る幼虫を待っているのか寄生バチの姿も
右：やけに黄色いカタツムリ、緑の葉っぱの上でめだっていた。



モンクロシャチホコガの幼虫、サクラの葉っぱをバリバリ



キタキチョウ 小さな花を見過ごさず



上：カナヘビ しっぽを一度切断したと想像できる
下：ニホントカゲ 虹色トカゲと呼んで必死に追いかけていた子どもにも出会った。



上：少し虫づいてるがしっかりと実ってきたオニグルミ
右：アオイトトンボ 成熟して粉をふいているようだ。この色合いがたまなくきれい。



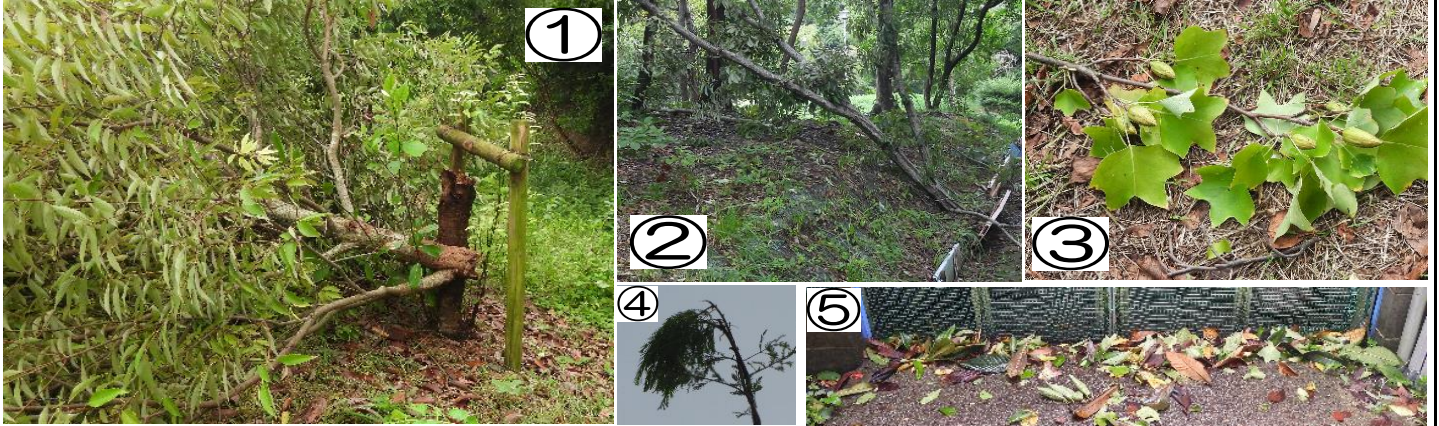


ロクハの自然

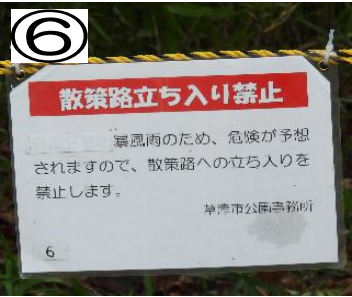
facebook「ロクハ見守り」 www.facebook.com/rokuhafamily ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

台風7号の傷跡

台風7号は滋賀をストライクゾーンにしてやってきました。今回こそはと覚悟をしてかなり備えていました。2018年の9月の台風で公園の木がかなり荒れたのを覚えています。それ以上かと思ってましたが、それといったようです。

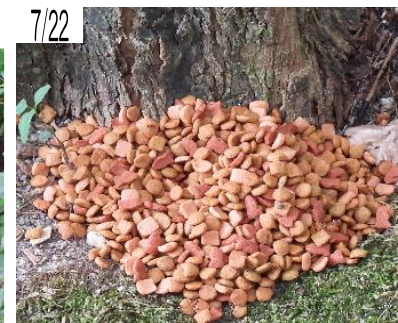


①南ゲートのシラカシの幼木、風より虫に食われていて弱っていたのが原因。
 ②背の高いコナラの上のほうの枝が落ちていた。直接当たると大げが③ユリノキの葉っぱがむしられたよう。葉が大きい分風の抵抗も大きい④メタセコイアのとっぺん。当然一番風を受けたはず⑤カブトムシ観察小屋の入り口の吹き溜まり。⑥小道の各入り口は台風に備えて閉鎖。安全が確認されるまではそのまま⑦小道の中は木の枝が結構落ちている。



スポーツ広場のサクラの木が倒れているとか聞かあちらのほうか吹きさらし度はきついかもかもしれません。セミは戻った感じでよく鳴いてましたが、樹液に群れていた虫たちの姿は少なかったです。

この夏のいやな景色



大量にばらまかれるキャットフード。何人もの人が私が猫の面倒を見ているとたっぷりおいていく。猫たちはおきざらしのものは関心がない。



虫トラップ 公園で上機嫌で食べられたスイカ、あとはカブトムシにあげようとゴミの放置の言い訳 ストッキングにカブトムシなどが好きそうなものが入っている。最初はツチノコかと思った。自分の家に勝手にされたらいやだろうと思う

虫カブトムシの飼育のシーズンが終わるころになると増える不法投棄。成虫を放つ場合も見られる、まもなく死ぬとか、旅行に行くので飼育できないとか「自然に返してあげよう。よろこばはる」が合言葉。



ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 www.facebook.com/rokuhafamily ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

立秋です

台風6号の影響は災害となって表れていますが、ここ草津では恵みの雨程度で終わっています。ロクハ公園にしっかりとした雨が落ちたのは何日ぶりでしょう。

①キリギリス



②ヒシバッタ



③ヒシバッタ

④ショウリョウバッタ



バッタの仲間

- ①キリギリス 鳴き声が少なくなりました。見えやすい葉っぱの上で撮影できました。
- ②③ヒシバッタ とっても小さなバッタ何かの幼虫かと思うぐらいです。何種類かあるようですが公園で見られるのは単一種で色ちがいです。ひし形でヒシバッタです。
- ④ショウリョウバッタ お盆のころによく見られるようになるので「精霊」チキチキバッタの異名あり



①クロアゲハ



②サトキマダラヒカゲ



- ①カブトムシ観察小屋で羽化したてのクロアゲハ。飛んで地面に落ちましたが、次はひらひら飛んでいきました。②サトキマダラヒカゲは交尾中に出会いびっくり「でっかいチョウ」と勘違い。幼虫に出会いたいが無駄みのらずです。
- ③あつという間にカナブンは少なくなりシロテンハナムグリ、あまりいざござありません。



7/23



7/27



③シロテンハナムグリ



ミノガの幼虫ミノムシ



これは明らかにミノムシ、幼虫時期、葉をバリバリと食べてそだちます。ミノの中いたのでわかりにくいですが、食べている時はちょこっと顔が見えます(見えなかった)。



クヌギ



マテバシイ



リンゴツバキ

クヌギは他のドングリと比べ殻斗(ぼうしやはかまと呼んでいるもの)の形が違います。待てば椎になれるというマテバシイは、食べられるということからかも、あく抜きが大変。この株はいつも大きなツバキの実がなると思っていました。リンゴツバキそれらしい名前種類だと知りました。



ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 www.facebook.com/rokuhafamily ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

早く残暑になってほしい

39度がささやかれる毎日、いろんな記録更新があるけれど暑さの更新はいただけません。連日熱中症の事故報告もされています。私に限ってと過信せず、できる限りの対策を



ジャブジャブ池?

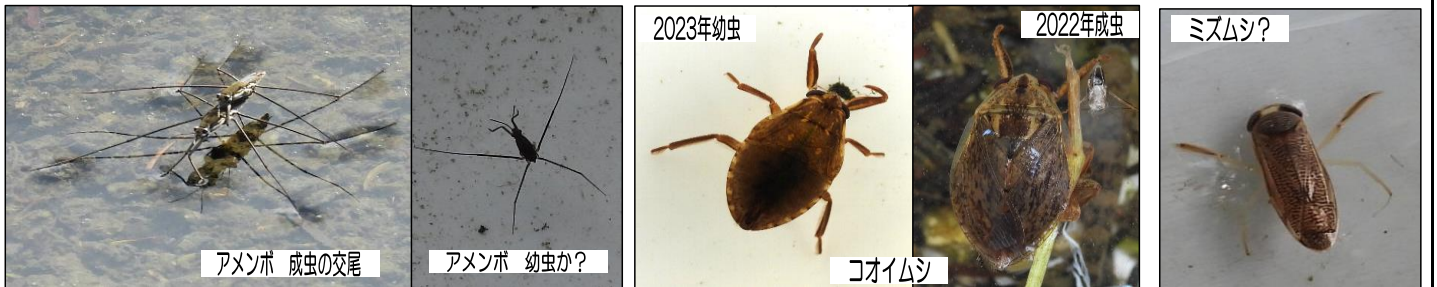
人工河川ジャブジャブ小川の最終の水たまりはこの飛び石を中心とした人気の場所です。4つ動く石があり始めてされる方は「ええ!」とびっくり、「ちゃんと書いとけよな」とぐちられるかたもすぐにチャレンジャーです。小さなお子さんは達成感を、ご高齢の方も「まだいける」と・・・この池の魅力はたくさんの生きものが見られることもあります。水を求めてやってくるものがいっぱいいます。大きな声で「メダカがいるよ」とうれしい声が聞こえます。その素晴らしいさを持ち帰られると残念でたまりません

生物調査

川原池の水をポンプ水源とした人工河川、いつも流れていてほしいのですが水源の水不足や運営上のことで、時には時には干上がります。今年も春先は空っぽの時もありました。それから増えた生きものを調査しました。目に見える程度で。



コイとメダカは放流されたものです。コイは下の川原池で産み落とされた卵を入れておいたものです。メダカは干上がることも何度かありそのたびに放流しています。カワエビはくみ上げられる水と一緒に幼生があがったか、滝を上ってきたのでしょう。ウキゴリも自力でここまでやってきます。メダカとカワエビはここで繁殖できます



カメムシの仲間

水辺・水中にいるカメムシの仲間です。アメンボは水面をスイスイ、大きいなよと思うと2匹が一緒。かなり小さなアメンボがいます。翅もなさそうなので幼虫か? 観察できたコオイムシは翅がない幼虫です。昨年の成虫と比べるとよくわかります。マツモムシと思ってましたが足の大きさと逆さむいていないのでミスムシか?



トンボの幼虫・ヤゴ

トンボの幼虫をヤゴと呼びます。私には①から③のヤゴの種類はわかりませんが、①はイトトンボ、②③はちがう種類で②胸が長くギンヤンマかも。④は観察中に③のヤゴがカゲロウの幼虫を食べてしまいました。ヤゴは何種類かはいるはずで。



水生昆虫とは

幼虫・蛹・成虫の間で水中生活をするものをいいます。すべて水中にいるものもありますが、成虫になると翅を移動する場合があります。左の3枚はすべてエラがありそうで(腹部の両側に出ているもの)、カゲロウの幼虫だと思われます。



ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 www.facebook.com/rokuhafamily ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

まさしく 大暑

ここしばらく滋賀県の高温は京都に肩を並べて上がってます。高い気温の記録は関東の盆地を思っていました。滋賀の盆地も可能性が高いかも。素人的に真ん中に水があるからと大丈夫と思うのですが、湯かもしれません。



樹液に集まる

樹液にいろんな虫が来て一生懸命吸っているところを見ると暑さを忘れず。アラカシの木の樹液が湧き出す張本人はこのシロスジカミキリでしょう。先日の夜の観察会では4匹を確認。カブトのオスメスはカップではなさそう。メスを蹴散らかしました。



ニイニゼミの鳴き声

ニイニゼミは公園の中で見られるセミの中では小型です。日中一番鳴いてます。クマゼミのボリュームはやかましさを感じますがニイニゼミはとってました。この日思いっきり近づいて鳴いている様撮っていると人体に影響をおよぼす騒音だと携帯アプリは反応しました。高音なので感じにくいかもしれませんが。ニイニゼミの鳴き方は単調な音を伸ばしていきますがお腹の長さをかえてアクセントをつけてました。



カラスザンショウの花に

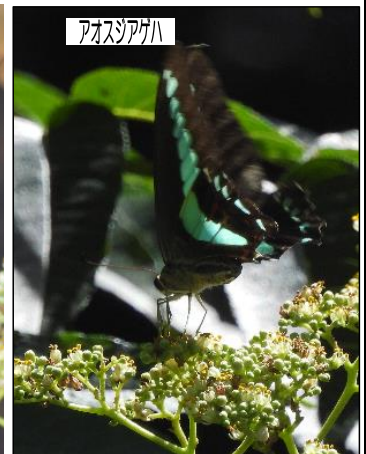
今、カラスザンショウの花が満開です。樹液に集まる虫のようにこちらでも大盛況です。小さな虫も多く見られましたが木が高いので詳しくわかりません。クロアゲハとモンキアゲハ似ていますが、モンキアゲハはどんなポーズで撮っても大きな白斑が見えます。(どうみても黄斑にみえない)。幼虫の時もよく似た色合いです。モンキアゲハは日本のチョウの中では開帳幅が一番長いようです。キムネクマバチは花萼まみれ、おなかの裏側にはたっぷりと花粉がついています。巣の中に運び生まれてくる幼虫のエサになります。



クロアゲハ



モンキアゲハ



アオスジアゲハ